

みどり認定

有機農業

農薬・化学肥料の不使用・使用低減

温室効果ガスの削減・吸収

スマート農業省力化技術

食品ロス削減

国産、地場産の供給拡大

その他

JA邑楽館林朝獲りきゅうり研究会（群馬県館林市、板倉町、明和町）



【生産概要】

きゅうり 11.3 ha

【経営概要】

個人、法人含め56経営体で組織。

■環境負荷低減の取組内容

- ・堆肥をはじめとした有機質肥料の施用により、化学肥料への依存を減らしながら、土壌環境改善と地力向上を図る。
- ・IPM（総合的病害虫・雑草管理）の実践により、生産性を維持しながら、化学農薬の使用回数を削減する。

■みどり認定取得のきっかけ、よかったこと等

- ・環境に配慮した栽培に取り組むことで有利販売をめざし、その取組を消費者へPRするため、旧エコファーマー取得を研究会加入の要件とした（現在はみどり認定を要件としている）。
- ・団体申請にすることで、会員全員の更新時期が把握でき、更新漏れを防ぐことができる。また、取組の目標・達成水準を数値化することで、進捗管理がしやすくなるとともに、会員のモチベーション向上にも寄与する。

邑楽館林農業協同組合園芸部園芸指導課 〒374-0013 群馬県館林市赤生田町847

電話番号：0276-73-4991 HP：<http://www.ja-ouratatebayashi.or.jp>